

令和7年度 農業経営に関する意向調査(アンケート)結果表

送付数	619	回答数	321	回答率	51.86 %
前回	775		372		48.00 %

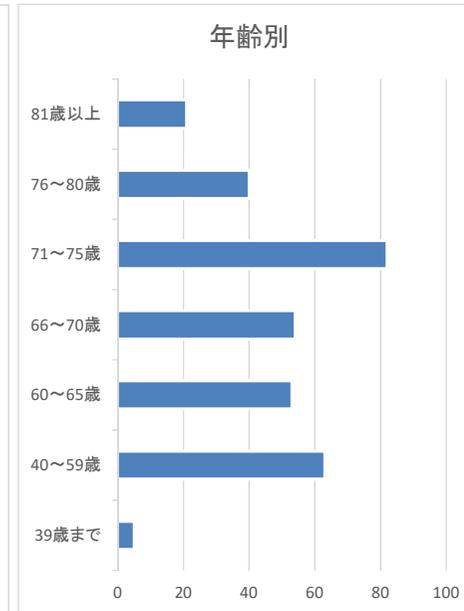
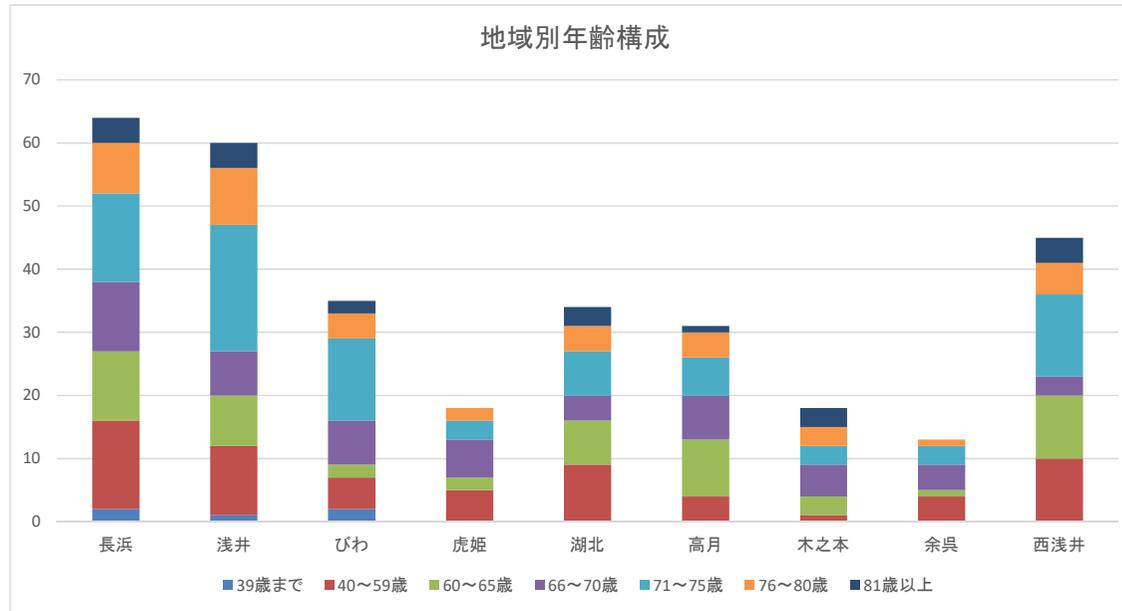
問 1 お住まいの地域は

長浜	65
浅井	60
びわ	35
虎姫	18
湖北	36
高月	31
木之本	18
余呉	13
西浅井	45
計	321

前回	95
前回	63
前回	37
前回	18
前回	44
前回	36
前回	18
前回	20
前回	41
前回	372

問 2 あなたの年齢は

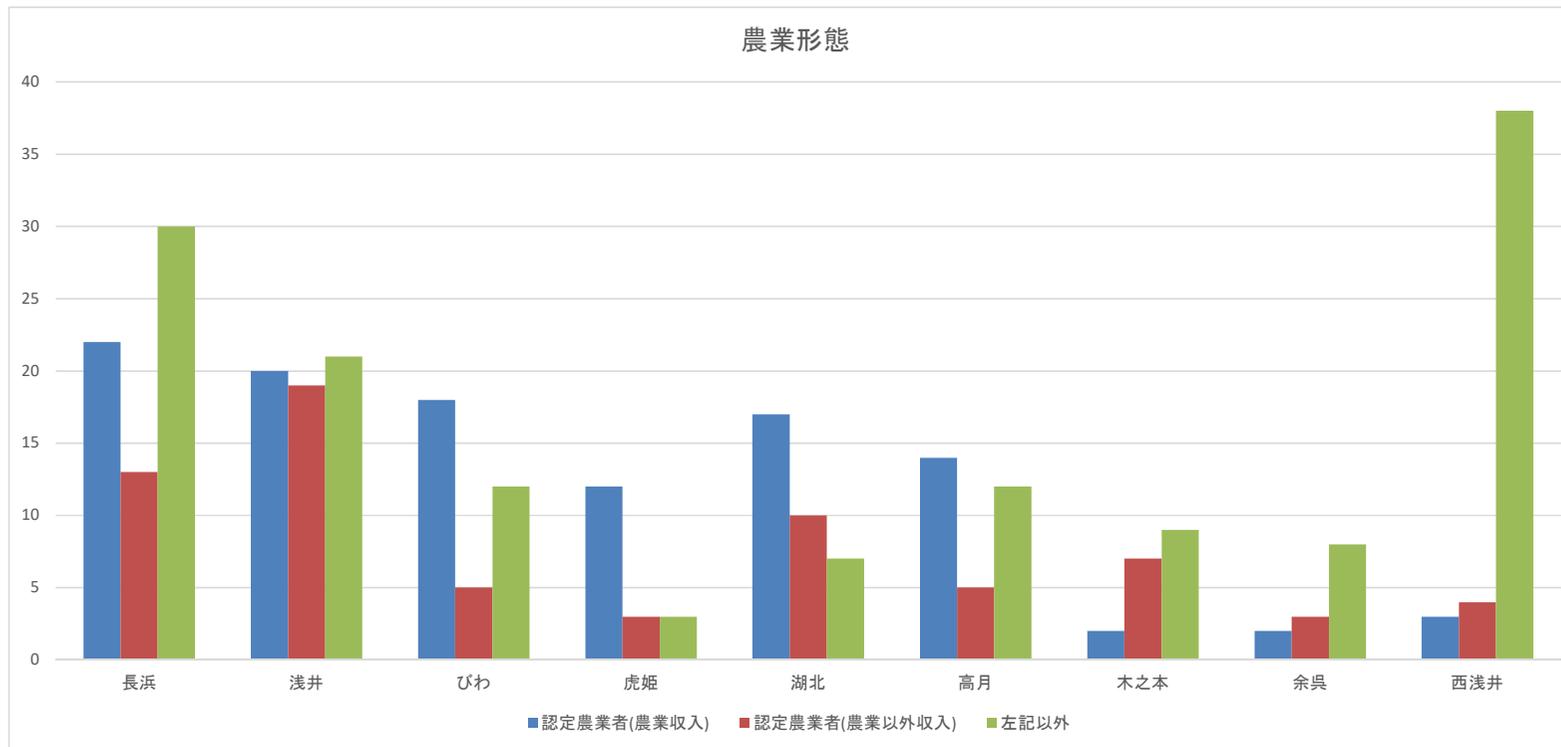
地区名	39歳まで	40～59歳	60～65歳	66～70歳	71～75歳	76～80歳	81歳以上
長浜	2	14	11	11	14	8	4
浅井	1	11	8	7	20	9	4
びわ	2	5	2	7	13	4	2
虎姫	0	5	2	6	3	2	0
湖北	0	9	7	4	7	4	3
高月	0	4	9	7	6	4	1
木之本	0	1	3	5	3	3	3
余呉	0	4	1	4	3	1	0
西浅井	0	10	10	3	13	5	4
計	5	63	53	54	82	40	21



問 3 あなたの農業形態は

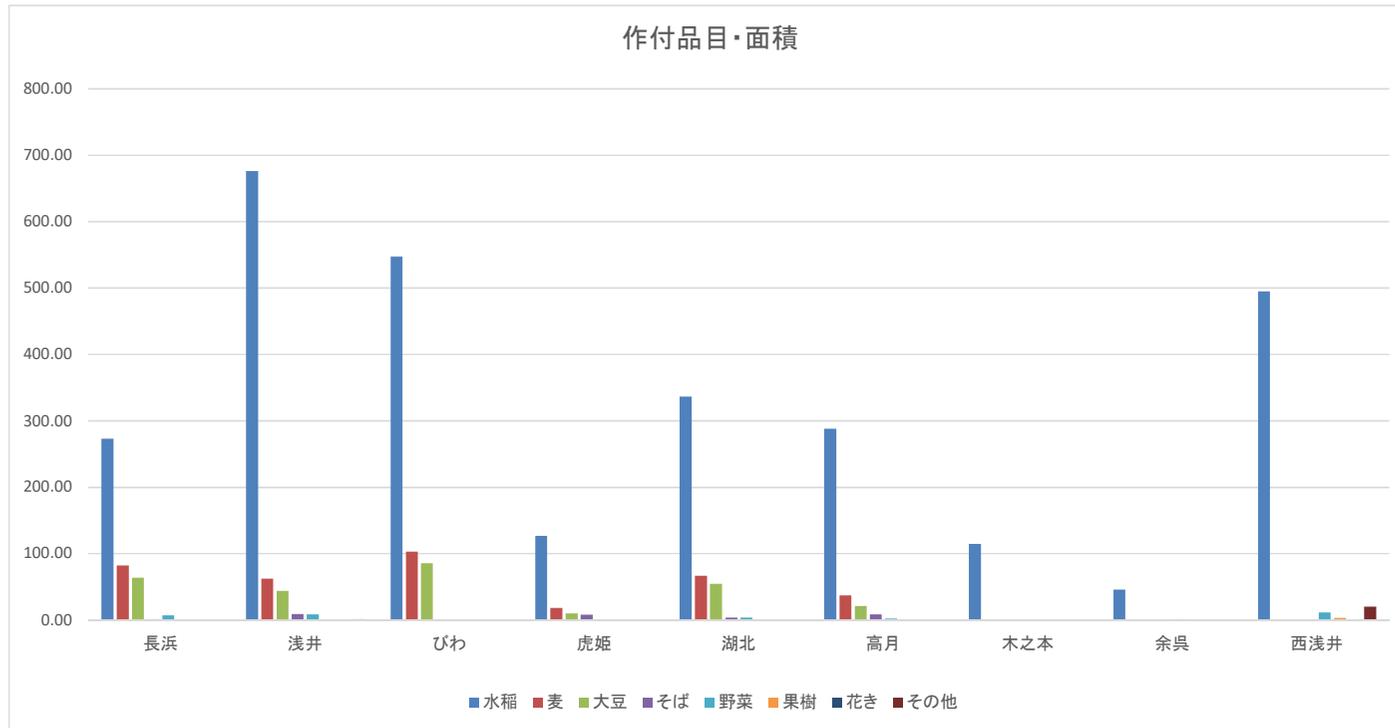
地区名	認定農業者(農業収入)	認定農業者(農業以外収入)	左記以外	計
長浜	22	13	30	65
浅井	20	19	21	60
びわ	18	5	12	35
虎姫	12	3	3	18
湖北	17	10	7	34
高月	14	5	12	31
木之本	2	7	9	18
余呉	2	3	8	13
西浅井	3	4	38	45
計	110	69	140	319

(未回答除く)



問4 作付品目、面積 単位=ha

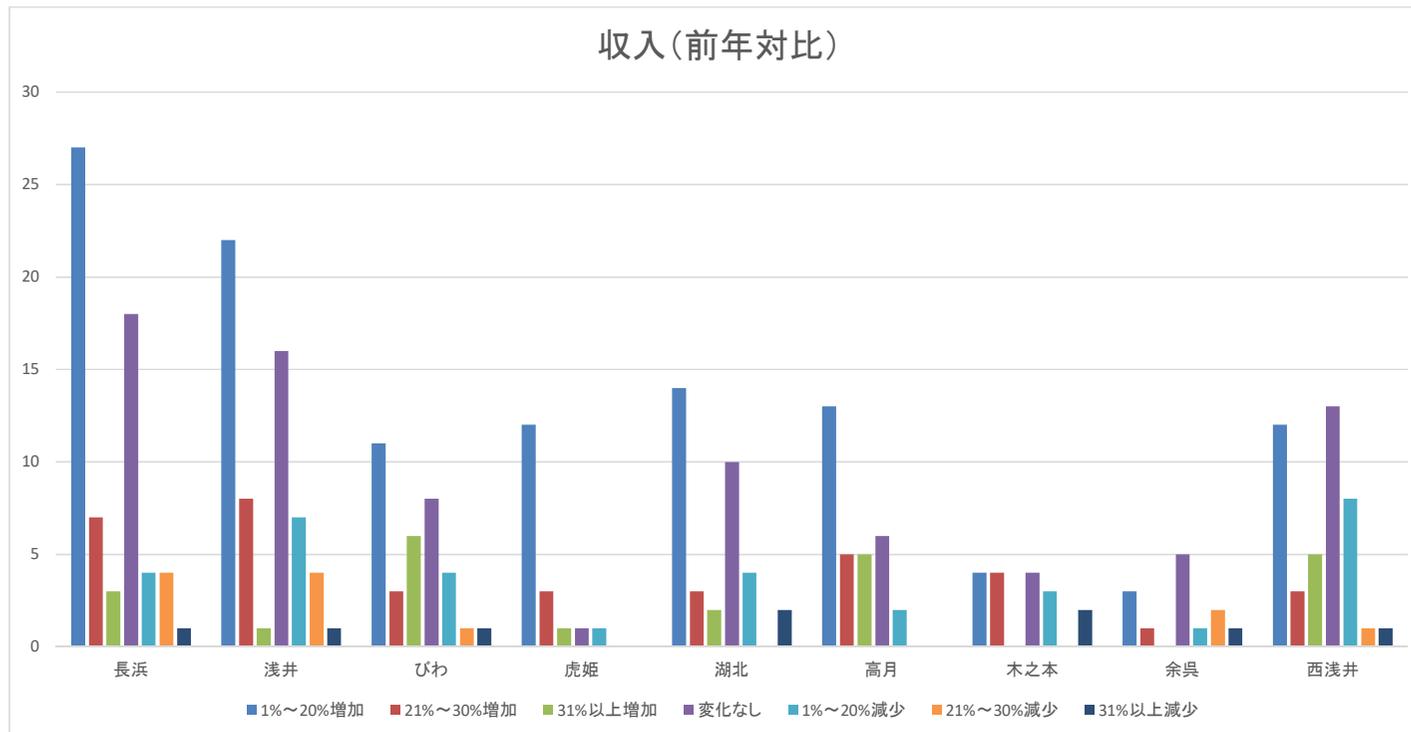
品目	水稻	麦	大豆	そば	野菜	果樹	花き	その他	計
長浜	273.15	81.93	63.60	1.40	7.10	0.00	0.00	0.30	427.48
浅井	676.17	62.15	43.84	8.90	8.60	0.00	0.00	1.50	801.16
びわ	547.32	102.94	85.72	0.00	0.77	0.00	0.00	0.63	737.38
虎姫	126.69	18.35	10.05	8.00	0.40	0.00	0.00	0.00	163.49
湖北	336.72	66.48	54.58	4.00	3.45	0.20	0.00	0.00	465.43
高月	288.25	37.30	21.10	8.40	2.30	0.10	0.03	0.00	357.48
木之本	114.70	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0.00	0.00	114.76
余呉	46.04	0.00	0.00	0.00	1.20	0.00	0.00	0.05	47.29
西浅井	494.99	0.00	0.00	0.41	11.87	3.05	0.00	20.10	530.42
計	2904.03	369.15	278.89	31.11	35.75	3.35	0.03	22.58	3644.89



問5 収入状況、前年対比

品目	1%~20%増加	21%~30%増加	31%以上増加	変化なし	1%~20%減少	21%~30%減少	31%以上減少	計
長浜	27	7	3	18	4	4	1	64
浅井	22	8	1	16	7	4	1	59
びわ	11	3	6	8	4	1	1	34
虎姫	12	3	1	1	1	0	0	18
湖北	14	3	2	10	4	0	2	35
高月	13	5	5	6	2	0	0	31
木之本	4	4	0	4	3	0	2	17
余呉	3	1	0	5	1	2	1	13
西浅井	12	3	5	13	8	1	1	43
計	118	37	23	81	34	12	9	314

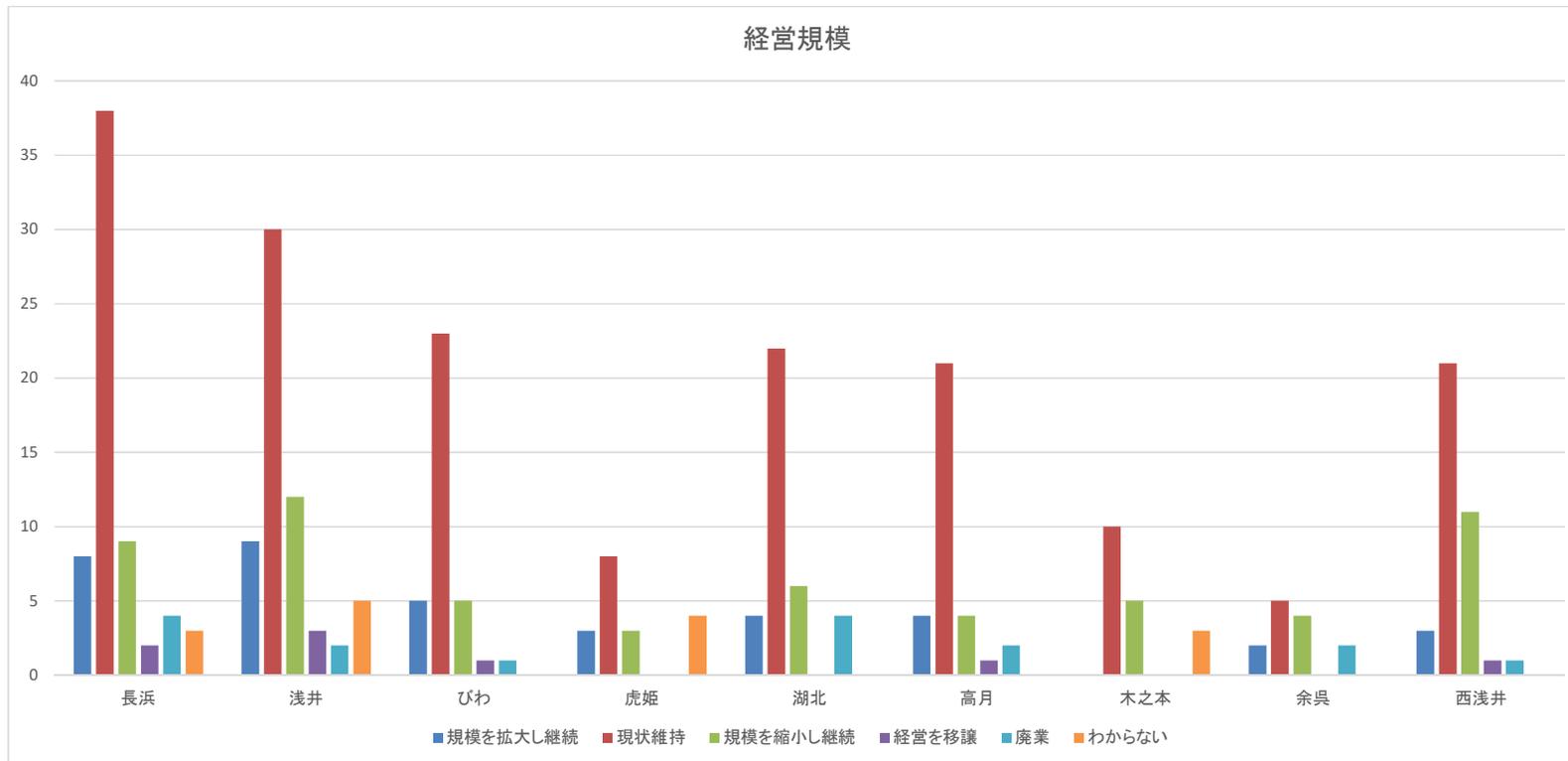
(未回答除く)



問6 今後の経営・事業展開は

地区名	規模を拡大し継続	現状維持	規模を縮小し継続	経営を移譲	廃業	わからない	計
長浜	8	38	9	2	4	3	64
浅井	9	30	12	3	2	5	61
びわ	5	23	5	1	1	0	35
虎姫	3	8	3	0	0	4	18
湖北	4	22	6	0	4	0	36
高月	4	21	4	1	2	0	32
木之本	0	10	5	0	0	3	18
余呉	2	5	4	0	2	0	13
西浅井	3	21	11	1	1		37
計	38	178	59	8	16	15	314

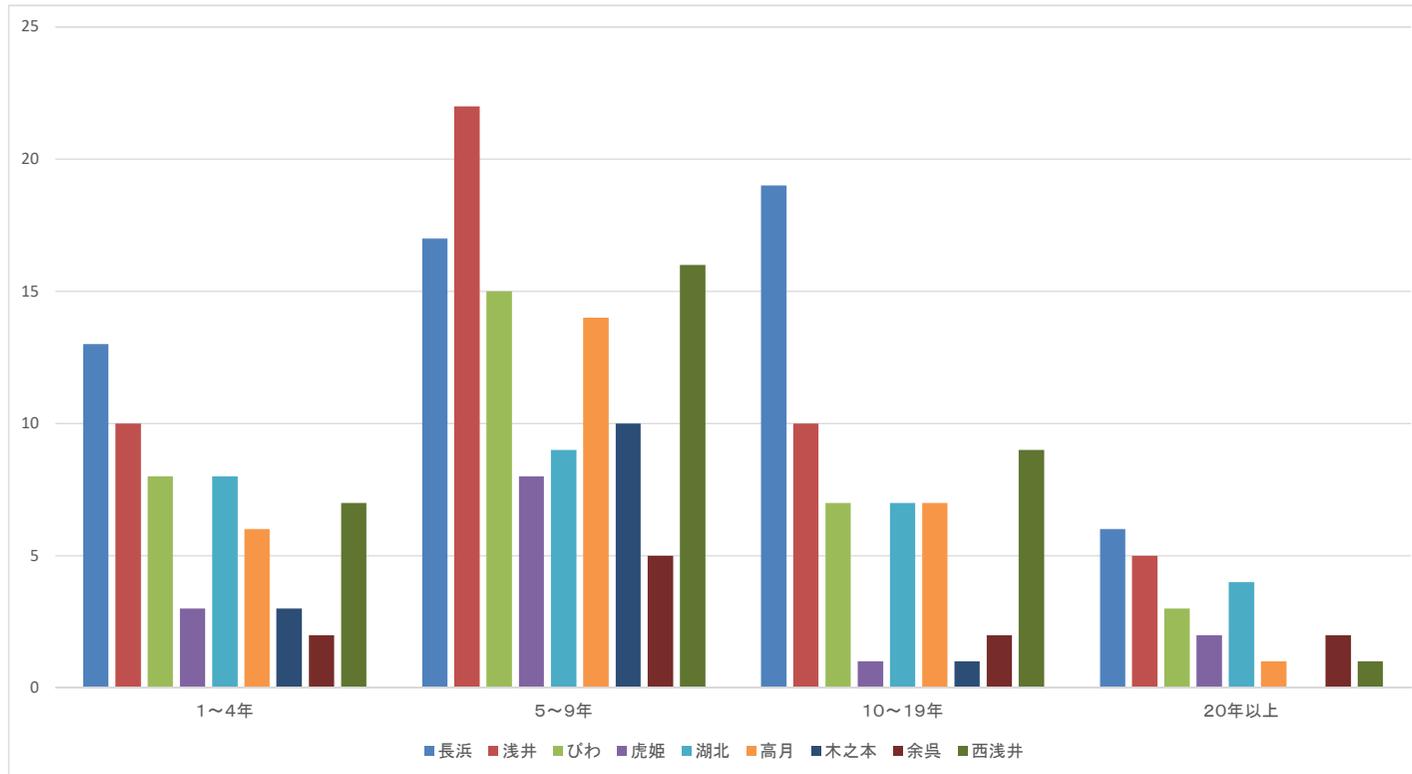
(未回答除く)



問7 (継続と答えた方) 何年程度現状を維持しようと考えていますか

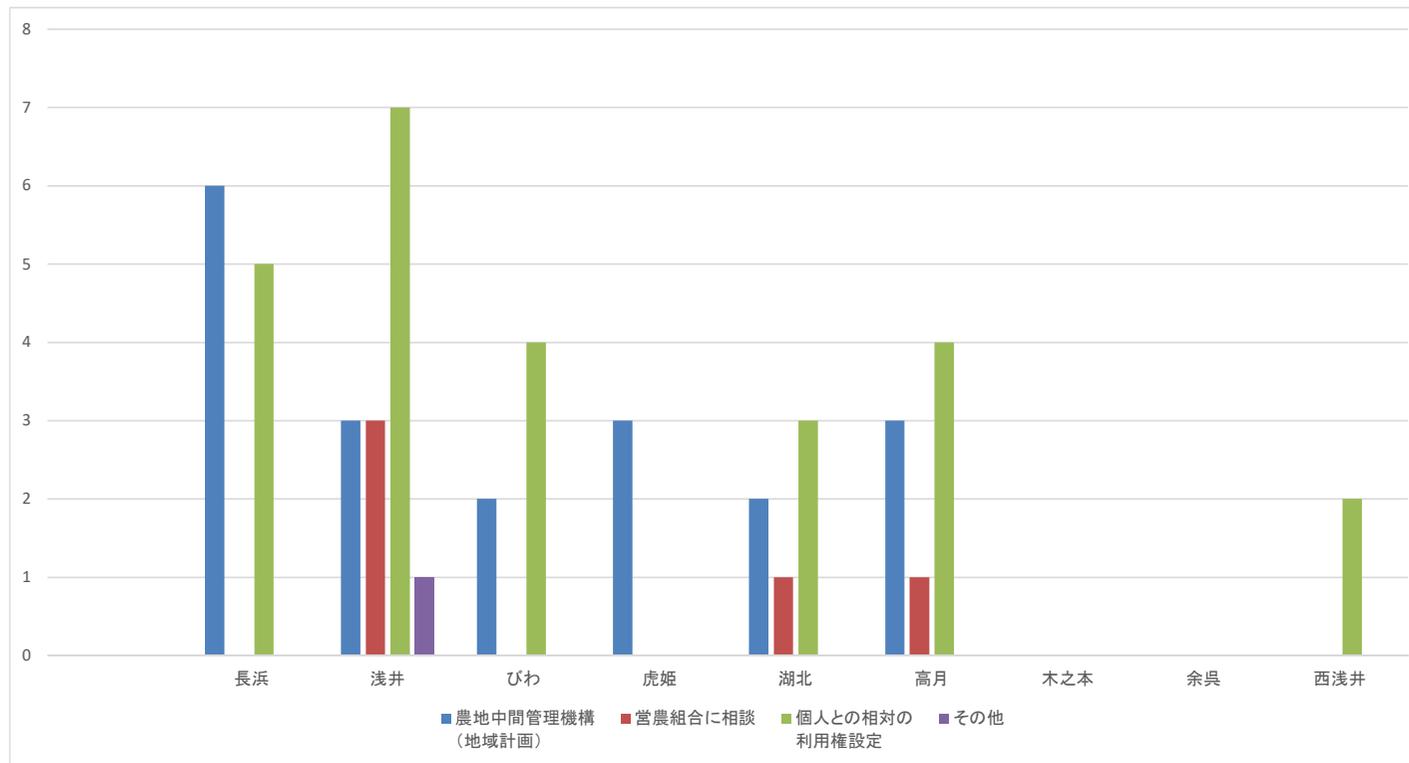
地区名	1～4年	5～9年	10～19年	20年以上	計
長浜	13	17	19	6	55
浅井	10	22	10	5	47
びわ	8	15	7	3	33
虎姫	3	8	1	2	14
湖北	8	9	7	4	28
高月	6	14	7	1	28
木之本	3	10	1	0	14
余呉	2	5	2	2	11
西浅井	7	16	9	1	33
計	60	116	63	24	263

(未回答除く)



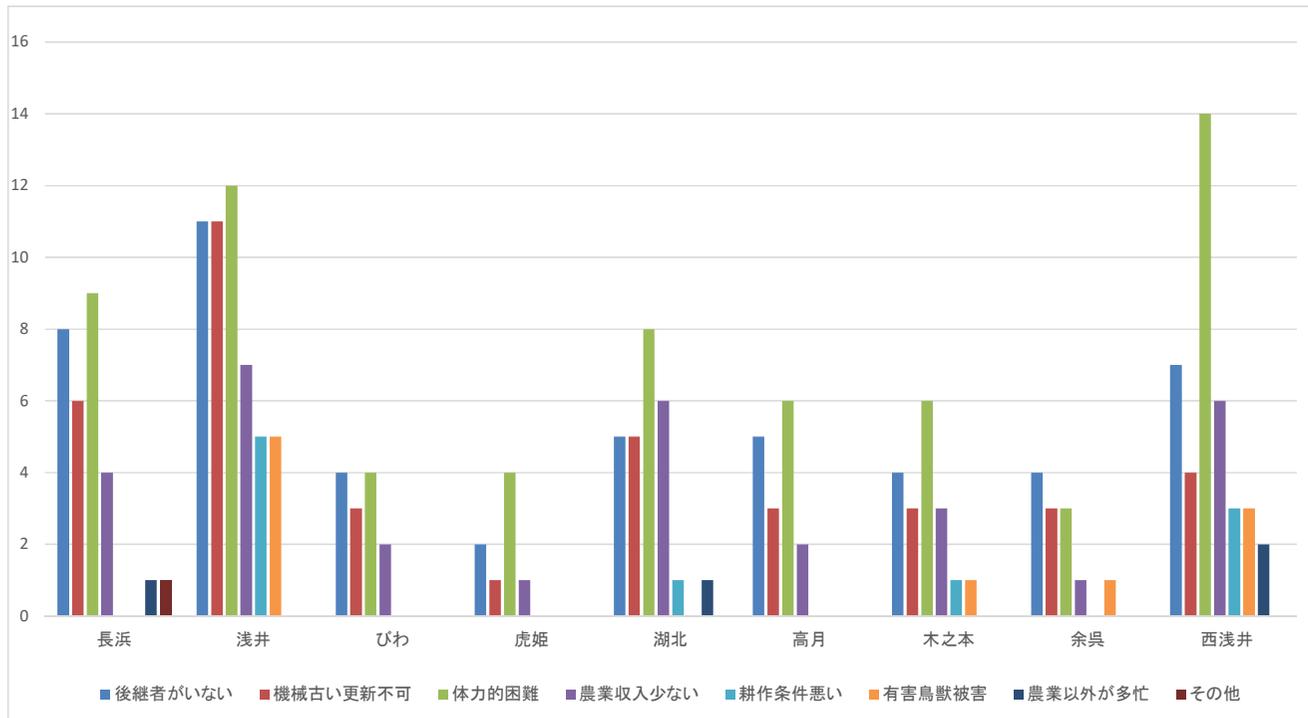
問8 (規模拡大と答えた方) どのような手法により拡大する予定ですか

地区名	農地中間管理機構 (地域計画)	営農組合に相談	個人との相対の 利用権設定	その他
長浜	6	0	5	0
浅井	3	3	7	1
びわ	2	0	4	0
虎姫	3	0	0	0
湖北	2	1	3	0
高月	3	1	4	0
木之本	0	0	0	0
余呉	0	0	0	0
西浅井	0	0	2	0
計	19	5	25	1



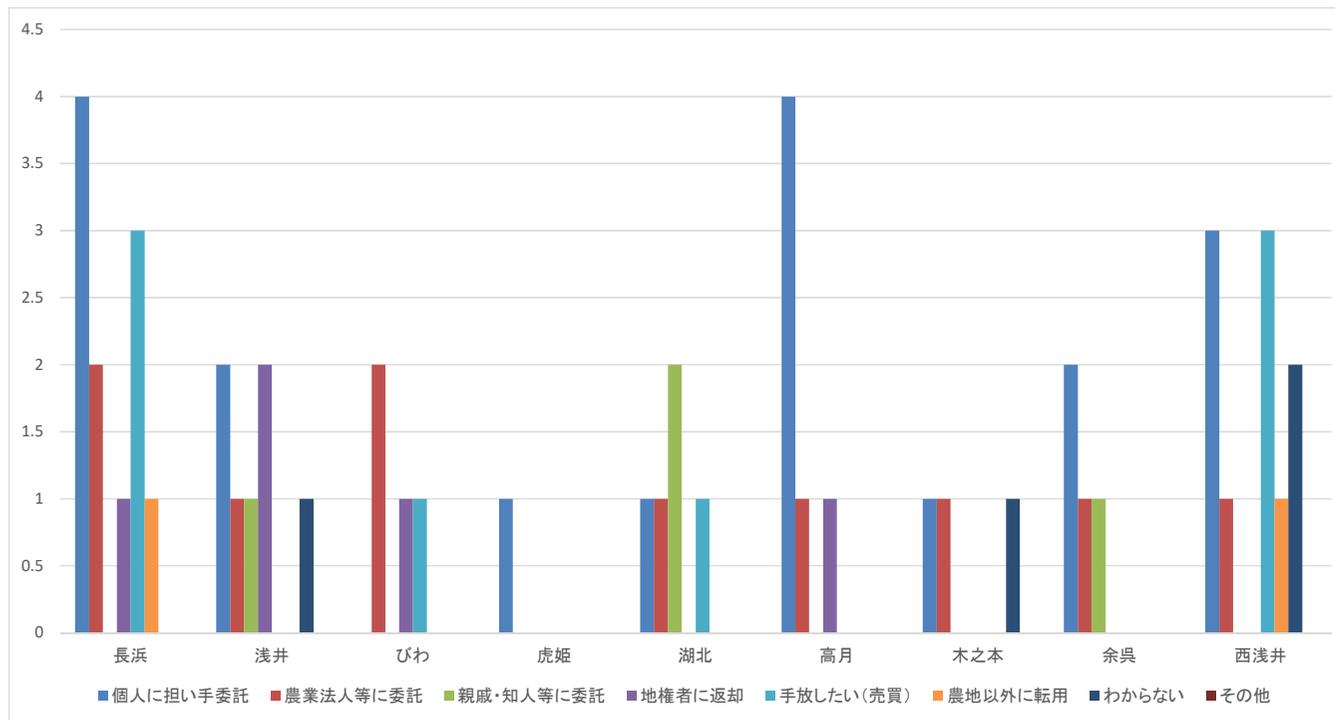
問9 (規模縮小、移譲、廃業と答えた方) その大きな理由は何ですか

地区名	後継者がいない	機械古い更新不可	体力的困難	農業収入少ない	耕作条件悪い	有害鳥獣被害	農業以外が多忙	その他	計
長浜	8	6	9	4	0	0	1	1	29
浅井	11	11	12	7	5	5	0	0	51
びわ	4	3	4	2	0	0	0	0	13
虎姫	2	1	4	1	0	0	0	0	8
湖北	5	5	8	6	1	0	1	0	26
高月	5	3	6	2	0	0	0	0	16
木之本	4	3	6	3	1	1	0	0	18
余呉	4	3	3	1	0	1	0	0	12
西浅井	7	4	14	6	3	3	2	0	39
計	50	39	66	32	10	10	4	1	212



問10 (廃業と答えた方) 離農後の農地についてどうしますか

地区名	個人に担い手委託	農業法人等に委託	親戚・知人等に委託	地権者に返却	手放したい(売買)	農地以外に転用	わからない	その他	計
長浜	4	2	0	1	3	1	0	0	11
浅井	2	1	1	2	0	0	1	0	7
びわ	0	2	0	1	1	0	0	0	4
虎姫	1	0	0	0	0	0	0	0	1
湖北	1	1	2	0	1	0	0	0	5
高月	4	1	0	1	0	0	0	0	6
木之本	1	1	0	0	0	0	1	0	3
余呉	2	1	1	0	0	0	0	0	4
西浅井	3	1	0	0	3	1	2	0	10
計	18	10	4	5	8	2	4	0	51



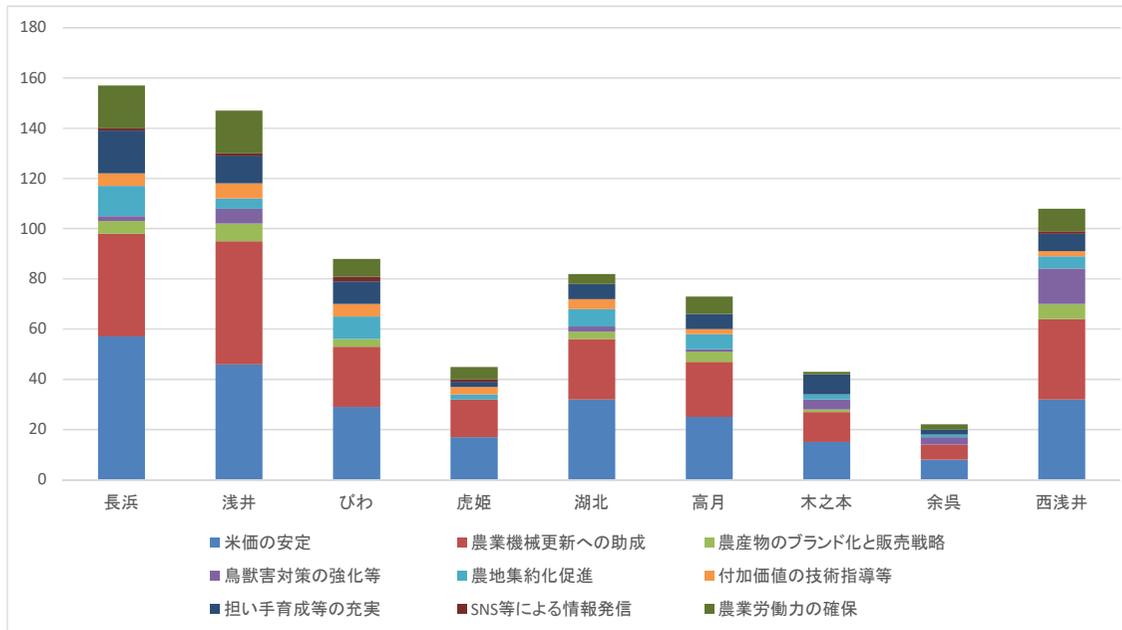
問11 農業経営を継続するため必要なことは何ですか※最大3つまで選択可

1	米価の安定	2	農業機械更新への助成	3	農産物のブランド化と販売戦略	4	鳥獣害対策の強化等
5	農地集約化促進	6	付加価値の技術指導等	7	担い手育成等の充実	8	SNS等による情報発信
9	農業労働力の確保						

地区名	1	2	3	4	5	6	7	8	9
長浜	57	41	5	2	12	5	17	1	17
浅井	46	49	7	6	4	6	11	1	17
びわ	29	24	3	0	9	5	9	2	7
虎姫	17	15	0	0	2	3	2	1	5
湖北	32	24	3	2	7	4	6	0	4
高月	25	22	4	1	6	2	6	0	7
木之本	15	12	1	4	2	0	8	0	1
余呉	8	6	0	3	1	0	2	0	2
西浅井	32	32	6	14	5	2	7	1	9
計	261	225	29	32	48	27	68	6	69

1位	米価の安定
2位	農業機械更新への助成
3位	農業労働力の確保

その他  
 米の直接販売による収入の拡大  
 会社組織の充実と優秀オペレーターの育成による効率を計る  
 米価の底上げと安定が必要。  
 補助金など市が力を入れる（畑）  
 販売力の強化  
 経営を農協で、安定な運用を  
 圃場整備  
 営農組合への助成  
 機械が高額となってきた、現在の助成対応では無理  
 麦・大豆の機械投資したものをどうするのか



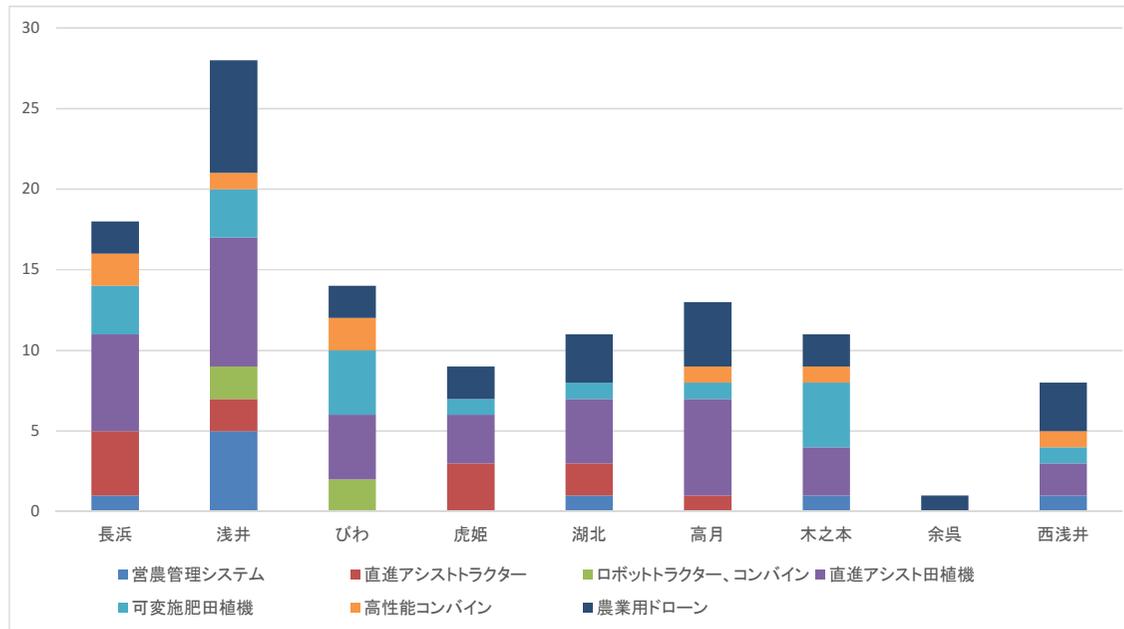
問12 現在導入しているスマート農業技術は ※最大3つまで選択可

1	営農管理システム	2	直進アシストトラクター	3	ロボットトラクター、コンバイン	4	直進アシスト田植機
5	可変施肥田植機	6	高性能コンバイン	7	農業用ドローン		

地区名	1	2	3	4	5	6	7
長浜	1	4	0	6	3	2	2
浅井	5	2	2	8	3	1	7
びわ	0	0	2	4	4	2	2
虎姫	0	3	0	3	1	0	2
湖北	1	2	0	4	1	0	3
高月	0	1	0	6	1	1	4
木之本	1	0	0	3	4	1	2
余呉	0	0	0	0	0	0	1
西浅井	1	0	0	2	1	1	3
計	9	12	4	36	18	8	26

1位	直進アシスト田植機
2位	農業用ドローン
3位	可変施肥田植機

その他  
直播農法



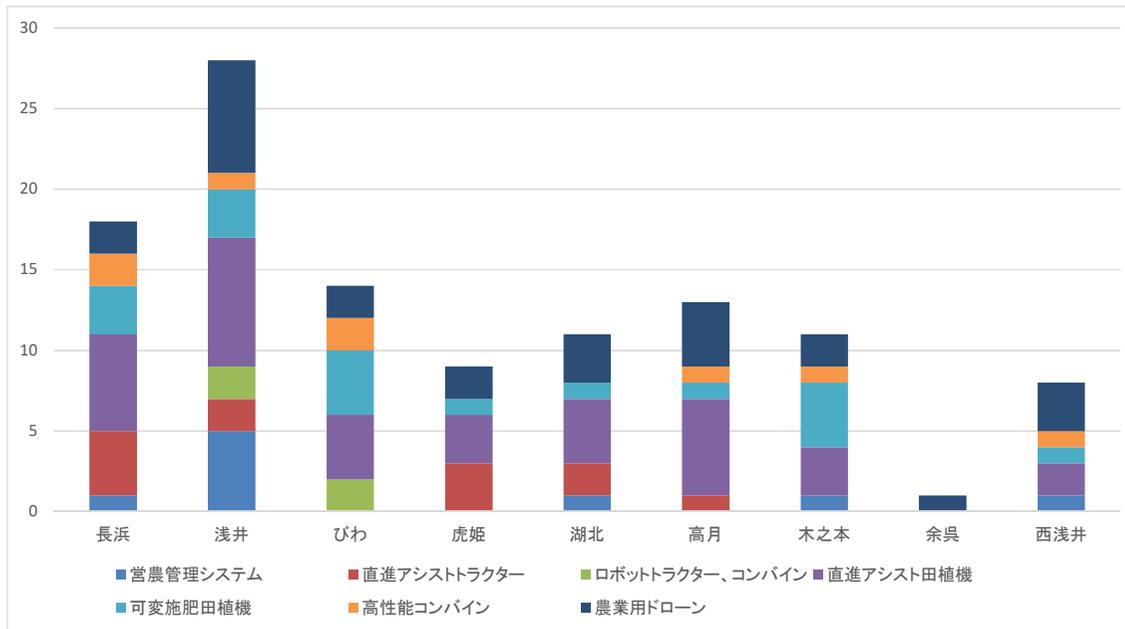
問13 今後導入したい、興味あるスマート農業技術※最大3つまで選択可

1	営農管理システム	2	直進アシストトラクター	3	ロボットトラクター、コンバイン	4	直進アシスト田植機
5	可変施肥田植機	6	高性能コンバイン	7	農業用ドローン		

地区名	1	2	3	4	5	6	7
長浜	7	8	5	11	2	8	14
浅井	6	4	8	8	5	3	14
びわ	7	5	4	6	0	2	13
虎姫	2	2	2	4	0	1	5
湖北	5	8	4	8	4	1	9
高月	3	2	2	6	2	2	5
木之本	1	3	2	7	2	3	7
余呉	0	1	0	3	0	1	3
西浅井	5	2	1	0	0	1	6
計	36	35	28	2	15	22	76

1位	農業用ドローン
2位	営農管理システム
3位	直進アシストトラクター

その他  
 乾直機械  
 リモコン草刈機  
 トラクターモア（取付、草刈可能）



#### 問14 今後、農業を守るために必要な施策、意見、提案、国・県・市への要望①

- ・ 営農組合、大規模農家への使用できる助成金が多いので、小規模でも使えるようにしてほしい。
- ・ 市が経営したらどうですか？（農業者の公務員化）
- ・ 補助金等の申請をしても、経営面積の多い法人には許可されるが、一度も補助金を受けたことはなく、審査の通りやすい方法はないかと、いつも思います。
- ・ 大規模、小規模（白地）土地改良、農地の排水路整備
- ・ 米価の安定
- ・ 農地を公的機関が買い上げて、必要な方に再配分してほしい。
- ・ 今般の備蓄米放出など、国には特に期待していないが、将来の食糧危機を見据えた、あたりまえの施策がなぜできないのでしょうか。不満である。
- ・ 1反に4万円の所得保障。農地中間管理機構。
- ・ 農地の周辺に宅地が増加、苦情が多くやりにくい。圃場整備の農地を宅地に変更出来るように。
- ・ 補助拡大
- ・ 「儲かる農業」ができる施策をしないと、若い人が育たず、日本の農業は衰退してしまう。国・県・市は、真剣に考えるべき！！
- ・ 給水バルブの更新と小排水路の管路化による4方道路化
- ・ 農業は、儲かる儲からないというものではない。国が存続し、人が生きてい行く基本となるもとという視点が大切
- ・ 田は個人所有となっているが、水路は公共のもので、国土という考え方なら、水路も公共の道路と同じ考え方で、修理・改修・保全のために、国が積極的に対応してほしい。
- ・ 農地の道路側の管理は、誰がする。その、補助金。草管理、土のやせにて道路の崩れ。
- ・ 道路は国が管理して、水路は農業者に保全を負わすのは誤っている。
- ・ 補助金の拡大、増額。特に高額な機械。
- ・ 土地改良が必要だと思います。
- ・ まるごと保全事業に参加していますが、令和8年度で終了する予定です。高齢化のため継続できないからです。何らかの支援を考えてください。限界です。
- ・ 陸稲による米作りの普及。（コスト削減、労働時間の短縮）
- ・ 有機栽培に対する特別な助成や、農協での有機栽培米の取扱い（買取）をしてほしい。
- ・ 農業収入不安定が問題なのと、米不足なら外国産入れて、農水省小泉、生産者半額の備蓄米を安売り。どこが農業米対策か？
- ・ 農業機械の補助金
- ・ 農業機械が高騰しているのだから、米価を3万円/1俵くらいになる様に関係機関が調整されることを望む。消費者への状況説明も必要である。
- ・ 補助金など、市が力を入れる(畑)来年、3反返す(作らない)
- ・ 農業経営は、3~4年が限度と思っている。後継者を探すべく、地区での話し合いの場を設定してほしい。
- ・ シカ・サルの出没に大変困ってます。
- ・ 大規模農家ばかりでは、農地は守れない。小規模があつてこそ農地は守られている。大規模農家ばかりなら、地域住民は、農家に、農業施設維持に協力しない。例えば、農村まるごとの活動。
- ・ もらえない国の補助金より（農機具、トラクターやコンバイン）確実にもらえる補助金があればよい。（今後も続ける農家に対して）
- ・ 農業機械は、突然傷むので、その時、助成してほしい。
- ・ 大規模圃場への整備
- ・ 大規模農家だけでなく、小・中規模農家への補助率を高めていただきたい。
- ・ 大切な農地なので、守りたいと思うが、先の事はわからない。耕作する人がいないと、放棄地なる事もあると思う。
- ・ 若手が農業に就農しやすく、魅力あるものに。
- ・ 小規模農家に対する、営農持続のための、集団化等の説明、支援。
- ・ 担い手の強化・育成。農業機械更新への助成を望む

#### 問14 今後、農業を守るために必要な施策、意見、提案、国・県・市への要望②

- ・ 農業経営を継続しながら、また、縮小しながらも、楽しんで農業がしたい。
- ・ 当然、後継者は必要ですが、現状として、若い方が農業に魅力を感じない！！米が高いと言っている場合か。米が取れなくなるぞ～！！
- ・ 米価の安定が農地を守ることになります。今までの価格が安かったから、農業離れになりました。R6、R7年産の価格が、まともな買取価格と思います。
- ・ 農地の区画拡大が浮上してきているが、これは、30～40年前に補助事業で、モデル地区を定めシミュレーションされたが、終着しており、新たに検討されるなら、農業者の自助努力でやるべき。認定農業者への、集積・集約が良策とは思えない。地域の担い手として、頑張っておられる方への支援が大事。
- ・ もう少し農機が安かったら。
- ・ 排水路の側面板継ぎ目から水が漏れたり、土がなくなり、穴があいている範囲が長い。いずれ、土手が崩れるし、増水した場合、穴が掘れて、側面板が倒れる可能性がある。できれば、国・県・市で、対応できないか提案します。
- ・ 現在、米価が高いと言われているが、今までの米価では、補助金もないため、機械導入は、難しい。今まで、若い方が、農業をしないのは、あたり前で有る。
- ・ 農業に魅力が有る方向に出来たらいいが。
- ・ 圃場整備後50年以上経過、排水路が崩れて水がもたない。もう一度、区画整理をやり直す。1haを基準に。
- ・ 用・排水路、畦畔ブロックなどの修理
- ・ 機械代が高くて、更新できない。機械が壊れたら廃業しかない！
- ・ 土手の修繕委託費の補助
- ・ 農業用機械の購入補助が必要
- ・ 小規模農家を育成して欲しい。条件の良い水田は、大型農家へいつている。条件の悪い水田、集落周辺の水田は小規模農家が（兼業農家）が守っている。
- ・ 農業肥料が高すぎる
- ・ 機械の更新補助金、関係ない。制度があるだけ（絵に描いた餅）中規模農家や、地域性なども、国、県、市、考えてほしいものだ！！
- ・ 効率の悪い農地（狭小、変形など）は、小規模農家が守っている状態です。続けられる助成願います。
- ・ 中小農家を見捨て、大農家の方を向いている政治がおかしい。大農家の農地の廻りは草だらけ。
- ・ 大型農家だけでなく、中カク農家にも農機更新の補助を。
- ・ 農業機械が古くなっていく。購入となると大規模農家しかできない。あらゆる機械をリースできることができればありがたい。
- ・ 若手農業者の育成と手厚い支援
- ・ 米価の安定と所得の安定がなければ、若者は担い手にならないと思います。設備が高額すぎる。中古車しか買えない状況はおかしい。
- ・ 農地の委託がスムーズに行ってほしい。高齢になりました担い手がない場合。
- ・ 農業機械の更新が低額でできると、継続・拡大が可能と考える。
- ・ 米（農作物）を、楽しく・安全な物を作るように、価格を安定させ、農業収入だけで生活できるようにすれば、農地は守られると思う。
- ・ 条件なしの機械の購入（買替、中古）の補助。補助金以外の借入金条件なし。
- ・ 農協で、運用できるよう、数年かけても推進してほしい。
- ・ 農地の集約化の為に、個人農地（荒地）の売買等、簡明に出来るよう要望します。
- ・ 農機具の購入の補助をしていただきたい。高額なため、負担が大きすぎるので、投資できないため。
- ・ 法人化に向けた指導が必要
- ・ 水田作の協業組織（農業機械共同利用組織）に対する支援策が必要と考えます。個人で農地を守り続けることができない。
- ・ 猪・鹿等の獣害対策なり補助を積極的にやって欲しい。農家や地域に丸投げでは、限界があり廃れていく。
- ・ 小規模農家、（10ha未満）でも、安定した収入が確保できるように、米の売価を安くし過ぎないでください。
- ・ 小・中規模農家が最低限の利益が上げられるよう、米価の安定、農機具購入補助等の支援。

#### 問14 今後、農業を守るために必要な施策、意見、提案、国・県・市への要望③

- ・ 米不足から、農地を増やす事を簡単に言っているが、長年に渡り減反した農地は、雑木・雑草がおいしげり、重機が必要。経費が多くかかるし、高齢者ばかりが作付け、米価の安定が必要。毎年、赤字で年金で補填・維持するのは大変。
- ・ 認定農家が安定した経営ができるような農業施策の施行、また、栽培方法も多様化しているので、土地に適作した、農業技術、指導体制、？行農業はもう限界です。
- ・ 中山間地域では、農業者（高齢化）だけでは、農地を守ることができなくなっている。地域（自治会）の協力を受けられる体制への施策を作ってほしい。
- ・ 鳥獣害対策の強化等による、安心して耕作できる環境づくり、被害結果から行動するのではなく、原因は何だったのか、なぜここに住みついて、どう対策したらいいのか、原因があるなら対策、行政側の方も調査し指導してください。被害が出ても、見にも来ない。
- ・ 生産調整をしたが米不足になり、農政への不信感が増した。
- ・ ・ 獣害対策(個人でできない・国県市道などの法面草刈りを全面実施要望・農機具/スマート農機のレンタル(私が実施したい・高温対策研修・若手の農業セミナー実施
- ・ ・ 自宅栽培野菜の作り過ぎ品販売所を市運営で運営して欲しい・このように意見が言えるような場所の運営
- ・ もっと生産力をつける為に規模関係なく個人にもっと農業機械導入時に利用できる補助金をお願いします。担い手強化支援、農地利用効率化支援事業などではなく、ほとんどの農家にも当てはまる支援事業をよろしくお願いします。
- ・ 以前の減反田の圃場整備費（水田化）の助成、機械更新及び購入の助成
- ・ JAに出荷しないので、JAも苦しくなり、米相場みたいな事がおこる。JAの買入れ（出荷）価格より、小売価格が2.5倍にどうしてなるのか。

## 問15 地域計画についてのご意見等

- ・ 圃場内栽培管理だけでなく、川、土手の管理指導もすべきであろう。特に大農家の方に見うけられる。
- ・ わかりやすくしてください。
- ・ 中山間地域が多い人本で、規模拡大で農業1本で生活できるようにするのみでは無理。兼業とかいったものと組み合わせるべきだ。
- ・ 規模拡大に伴い、景観作業がおろそかになりがちです。まるごと農村などの協力が出来ていくようにお願いします。
- ・ 集団化の方向へ進めるように。
- ・ 必要以上の大規模化は、逆に個人農家の衰退を招き、農村環境悪化をもたらすのではないかと危惧しております。
- ・ 助成金の使い道？集落営農にもメリットが見込みたいが、中古機の見替えて、数年対応できてるが、高齢化に伴い年々困難となり、次の世代にバトンができていく。
- ・ 地域の実情があるので、全て同じようにはいかないです。
- ・ 現状、各地区について、地域計画の推進等という体制でされているが、各地区に連絡を行ってほしい。
- ・ 各地域に合った農業計画の推進を！！
- ・ 現状に合っていない。（あくまで計画である）
- ・ いいことだと思います。もっと集約ください。
- ・ 地域計画は、地元自治会に説明されたのだと思いますが、農家への説明が、不十分に思います。動画等での説明を、配信してもらえないでしょうか。
- ・ 10年以降の計画も、今、考えていかなければならない。
- ・ 農地の集約化への助成金等。
- ・ 地権者（地主）がもっと参画すべき。
- ・ 地域ごとの食糧自給率設定と、それに向けての戦略・施策の明確化をしてほしい。また、自給率目標達成地域には、優遇措置が欲しい。
- ・ コストをおさえるために、耕作交換を、もっと確実に市政にやってほしい。
- ・ 10年後の農地の作り手確保のための、活発な地域での話し合いへの推進を呼びかけ、きっかけづくりを、農業委員会で。
- ・ 上部の政策に順応した対応でなく、地域地域の特色を生かした、地域農業計画を希望する。
- ・ 耕作者・地主の意見が反映された地域計画が必要だと思う。
- ・ 地方の担当者より、自治会へもっと強く教えて（詳しく）指示してください。（不明な方多い）
- ・ 30aで一枚の田が多い、圃場整備を再度実施するような、政策を願います。
- ・ いろいろな方が、参入してきており、大型機械で耕作されたり、作付けはしているが、管理が行き届いていないところなど地域計画で集約されても困る。
- ・ 地域計画は良いと思うが農振地だけを対象としているので、大型のトラクタ・コンバイン・田植機が入らない圃場は、今後休耕田や耕作放棄地が増える。
- ・ 地域計画は市街化区域や調整区域も含んだ策定が必要。
- ・ 地域計画に基づく農地の集約化を進めようとしても、農地の管理状況、水利および面積等の違いから双方の合意を得ることが困難である。